

述而第七

子曰、三人行、必有我師焉。

擇其善者而從之、

其不善者而改之。

子曰わく、三人行^{さんになおこな}え^{かなら}ば^わ必^しず^あ我が師有り。

其^その善^{ぜん}なる者^{もの}を擇^{えら}びて之^これに從^{したが}い、

其^その不^ふ善^{ぜん}なる者^{もの}は之^これを改^{あらた}む。

(7-169)

<子曰わく、三人行えば必ず我が師有り>

Q：「子曰わく、三人行えば必ず我が師有り」とは何ですか。

A：(1)「孔子が言った。自分を含めて三人で行動すると、他の二人の言動には、必ず自分にとって学ぶべき師となるものがある」の意。

(2)「三人の人が同じ道を行けば、必ずその中に自分の師とすべきものがある」の意。

<其の善なる者を擇びて之れに従い、其の不善なる者は之れを改む>

Q：「其の善なる者を擇びて之れに従い、其の不善なる者は之れを改む」とは何ですか。

A：(1)「二人の言動のよい点は、それを見ならい、よくない点は、それを自分の反省材料とすることが出来るからだ」の意。

(2)「自分のほかの二人の中の、善なる者を選んで、それを見倣^{なら}うようにし、不善なる者にかんがみて、自分の不善を改めるようにする。かくすれば、そこに師はきっと得られるものだ」の意。

— 2011 年 6 月 21 日林明夫記—